



発行
大分県議会県民クラブ
大分市大手町 3-1-1
TEL: 097-506-5088
FAX: 097-538-0136

題字: 草刈 樵峰

木田のこ

別府湾の日の出

皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また昨年は、心温まる御支援を賜りましたことに、心から感謝と御礼を申し上げます。

お蔭をもちまして、日々の議会活動を重ねることができ、昨年の第三回定例県議会では、地方創生に対する取組のほか、県と市町村との連携等について、知事へ質問する機会も得ることができました。

大分の中心部では、JRおおいたシティや県立美術館のオープン等で賑わいを増してきました。

また、二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピックの前段として、ここ大分では二〇一八年に国民文化祭が、そして二〇一九年にはラグビーW杯の開催が控える等、多くの期待が寄せられるところとす。

しかし一方では、県全体の人口減少や農山漁村の過疎化を懸念すると、将来にわたり県内各地域の暮らしを支えるには、様々な課題が山積しています。

地方創生の取組は今年で二年目を迎えますが、県



2016年 飛翔

県立屋内スポーツ施設 建設・整備について

2019年に大分で開催されるラグビーW杯を見据え、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致も含め、県民に愛され、県民が誇れる武道競技・屋内スポーツの推進拠点とする施設整備が進められています。

昨年11月には基本設計者の選定が行われ、10者からの応募のなかから、施設の機能性・工期とコストの妥当性・デザインイメージの実現性等について審査され、下図のデザインを提案した「能勢修治」(石本建築事務所)氏が最優秀者となりました。

当初は2019年7月末を竣工予定としていましたが、竣工時期を約3カ月程度早めるため、昨年12月の第4回定例県議会で実施設計等の時期を繰上げることとなりました。



- 【概算事業費】 65億円以内
- 【整備概要】
- ・単独で大規模大会が開催可能な面数を有する多目的アリーナ(剣道8面、柔道8面、ハンドボール2面、バレーボール5面、バスケットボール4面の設置を可能とする)
 - ・トレーニング室(気軽に利用できる開放的空間として整備)
 - ・キッズルーム(子育て世代の利用に配慮し、授乳や子どものプレイスペースを確保)
 - ・その他(防災資機材用倉庫、救護室、エントランス・ロビー、共用会議室等)



別府市・湯山地熱発電所にて

10・20 化九州大会(鹿児島)
10・17 森林・林業・林産業活性化九州大会(鹿児島)
10・13 窓会
10・12 竹田高校大分・別府同窓会
11・20 集中講座in博多
11・20 公共施設マネジメント
11・17 おおいたスポーツ広場
11・16 大分県飲食酒運転根絶県民大会
11・16 第四回定例県議会開会(会期:12・16まで)
11・15 県民クラブ地域学習会in臼杵

で策定された「まち・ひと・しごと創生大分県総合戦略」が実効性あるものとなるよう、しっかりと取り組んでいきたいと思えます。暮らしに笑顔ある大分を将来へつなぐことができるよう、全力で頑張る所存です。本年もより一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

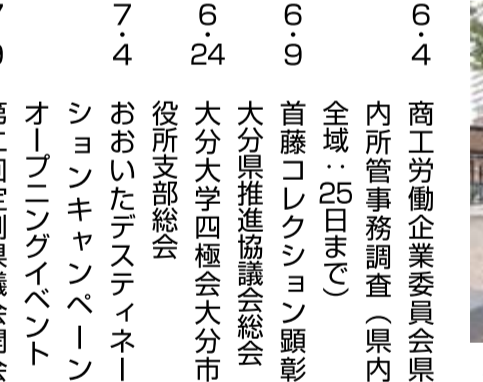
結びになりますが、新年が皆様にとって素晴らしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。



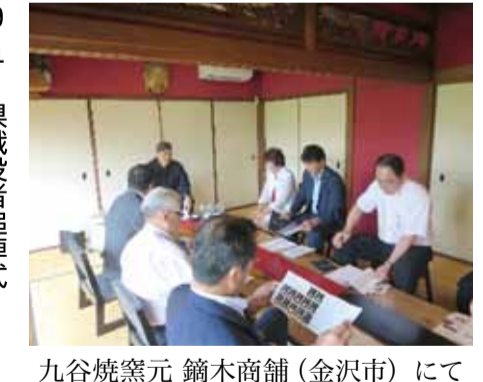
活動記録	日付	内容
県議選投票開票	4・12	南太平洋オレンジ会総会
	4・15	メーデー大分中央大会
	4・29	豊府校区老人クラブ連合会総会
	5・8	豊府校区老人クラブ連合会総会
	5・14	第一回臨時県議会開会(会期:15日まで)
	5・22	大分大学四極会大分支部総会
	5・26	全国学習会(東京)
	6・4	商工労働企業委員会県内所管事務調査(県内全域:25日まで)
	6・9	首藤コレクシヨン顕彰
	6・24	大分県推進協議会総会
	7・4	大分大学四極会大分市役所支部総会
	7・9	おおいたデスティネーションキャンペーンオープンイベント
	7・18	第二回定例県議会開会(会期:8・6まで)
	7・23	みなみおおいた夏祭り
	7・25	大分県生活協同組合連合会60周年記念式典
	8・20	市民ふれあい学校給食試食会(舞鶴小学校)
	8・17	国道二一〇号改修促進協議会役員会
	8・20	都道府県議会議長会新任議員研修会(東京)
	9・4	県戦没者追悼式
	9・12	県民体育大会議員ソフトボール大会
	9・17	第三回定例県議会開会(会期:10・7まで)
	9・20	スペシャルオリンピッククス日本・大分はばたけ勇気の翼
	9・30	大分県生活協同組合連合会県議会議員懇談会
	10・7	県民クラブ地域学習会in別府
	10・12	九州各県議会議員親善野球大会(福岡)
	10・22	大分外郭環状道路建設促進協議会総会
	10・23	商工労働企業委員会県外所管事務調査(石川・富山)
	10・24	市戦没者追悼式
	10・26	大友氏顕彰フォーラムin大分
	10・27	連合大分当初予算編成に際する対県要請
	10・30	全国環境連全国大会
	10・31	大分県開港50周年記念事業
	10・31	業みなとフェスOITA
	10・31	オーストリア演劇博物館トーマス・トラビッチュ館長来県歓迎行事
	11・1	OITAサイクルフェス豊府まつり
	11・3	南太平洋自主防災訓練
	11・8	九州横断長崎・熊本・大分観光振興議員連盟総会
	11・9	部活解放研究全国集会
	11・10	大友氏顕彰フォーラムin竹田
	11・11	みなみおおいた発見歩<Day>旭ふれあい祭アーチ
	11・14	地方議会活性化シンポジウム(東京)
	11・15	都道府県議会議員研究交流大会(東京)
	11・16	大分県議会議員政策力向上研修会
	11・17	大分県飲食酒運転根絶県民大会
	11・20	第四回定例県議会開会(会期:12・16まで)
	11・20	県民クラブ地域学習会in臼杵
	11・26	大分県議会議員政策力向上研修会
	12・16	第四回定例県議会開会(会期:12・16まで)
	12・16	県民クラブ地域学習会in臼杵



二〇一五年 活動記録



5・30 自治労クリーンキャンペーン(ゴミゼロの日)



九谷焼窯元 鍋木商舗(金沢市)にて

8・22 九州各県議会議員親善野球大会(福岡)



大分県議会議場にて

2015年第三回 定例県議会 一般質問・答弁

詳細はHPから 大分県議会 検索



「まち・ひと・しごと創生 総合戦略について」

(質問)人口減少問題等の困難な課題に対し、「チーム大分」一丸で取り組み、実行段階で常に検証と計画の見直しを重ねていくプロセスが重要。県人口ビジョンの将来人口を実現するには、これまでにない格段の取組みが必要と考える。

年度別の重点項目や個別施策等をロードマップに掲げて進捗管理するとともに、多くの県民の皆さんと意見交換を積極的に行うことが大切だと思つが知事の見解は。

(答弁)知事)本県の人口ビジョンでは、自然動態と社会動態の両面から人口減少に歯止めをかけながら、将来的には百万人程度の人口を維持するということになっている。

地方創生は喫緊の課題であり、4～5年で道筋をつける必要がある。総合戦略は、PDCA(計画・実行・評価・改善)サイクルによって、計画的な実行と進捗管理を図る。また、県政ふれあいトークでの意見等を取組みに反映させていく。

「高齢者の地方移住」

(質問)日本版CCRC(高齢者地方移住)構想は高齢者が健康な段階から移住して健康長寿を目指すし、社会活動へ積極的に参加するなど、新たな方向性も提示している。

高齢移住者の受け入れについては、地元を描く地域社会像に対する意向を十分に酌み取り、政策の方向性を出してほしいと思つが、県として今後どう取り組んでいくのか。

(答弁)企画振興部長)知識経験豊富で元気な高齢移住者は、地域の担い手として、また消費や雇用の拡大

といった面でも期待できる。幾つか課題もあり、首都圏の移住する高齢者と受け入れられる側の本県の高齢者の気持ちをとらざるを得ないこと、県内の地域医療、介護施設の受け入れ能力や人材の確保、自治体の財政負担、地域コミュニティへの影響などを考える必要がある。

CCRCの研究を重ね、特に本県にゆかりのあるアクティブシニアのUターンを積極的に進めていく。

「U・Jターンの促進」

(質問)人口の社会増に最もつながらず、県内での生活経験があり、本県のよさを知っている人のUターン。都会での暮らしと地方暮らしのコスト比較をし、大分での生活を数値的に「見える化」した内容のパンフレットを作成するなど、これまでとは違った情報発信をしてはどうか。

U・Jターンの促進する取組みにおいて、本県は他県とどのような差別化を図っていくのか。

(答弁)企画振興部長)東京に移住コンシェルジュを配置し、ワンストップの相談窓口を開設した。県人会や同窓会、さらに自治会等と連携し、効果的な情報発信と移住相談を行っていく。また、先ほど議員か



ら提案のあった、生活コストの比較といったような情報も発信していく。

今後、本県出身の若者、子育て家族、アクティブシニアの三つの層をターゲットに市町村と連携し、戦略的なU・Jターン促進に取り組んでいく。

「企業誘致について」

(質問)企業誘致における、地域間競争はますます激化して行く。

本県も立地市町村との連携による誘致後の複合補助や雇用支援、インフラ整備などにより、他県におくれをとることがないよう、戦略的に企業誘致を進めていく必要があるが、具体的にどう取り組むのか。

(答弁)商工労働部長)国も推し進める本社機能の地方移転に戦略的に取り組んでいく。

成長著しい企業の事務部門を受託するBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)、あるいはコールセンターなどにも力を注ぐなど、今後も企業ニーズにスピーディーに対応しながら、企業誘致を進めていく。

BPOについては、補助制度を拡充し、積極的に企業誘致に取り組んでいる。

「立地企業への支援」

(質問)本県には、鉄鋼、石油化学、半導体企業などが、バランスよく立地している。既存立地企業の収益性向上のための新たな仕組みや、競争力強化に向けた支援が求められる。

県内進出企業が引き続き存続するため、工場の新増設や技術開発に要する設備投資への支援など、どう取り組むのか。

住民本位の政策を形成し、財政面でも知恵を絞る。最小の経費で最大の効果をめざすこと。大分市とは、県・市美術館を核とした芸術文化振興、ラグビーW杯大分開催を通じた魅力発信等、一層の議論を重ね、実をあげていきたい。

(質問)市町村の財政規模は小さく、経常的経費の割合が高い。このような中で、公共施設等の市町村移管に加え、各種事業における負担の見直しを迫られることは、市町村にとってかなりの負担になる。

県と市町村の役割分担のあり方をどのように考えているのか、市町村との協議の進め方も含め、県の見解を伺う。

(答弁)総務部長)公共施設については、県が真に持ち続ける必要があるかという観点から検討している。相手方となる市町村の意向が重要であり、丁寧に協議を進めたい。

また、財政力指数や経常収支比率で見ると、県よりすぐれている市町村も多い状況にあり、補助金についても見直しをする場合には、市町村の理解を得ながら丁寧に進めていきたい。

「大分市との連携」

(質問)統一地方選挙を通じて、県政と大分市政との連携をめぐり環境は変化し、行き過ぎた連携を懸念する報道も一部でなされた。県と大分市は、これからもそれぞれの独自性を保ち、お互いを尊重して協調する、いわゆる成熟した関係になることを望む。

県と大分市は、対等・協力関係であることを基本に、「財政力・政策力・機動力」の三面から、より一層の連携を図っていくべきだと考えるが、知事の見解は。

(答弁)知事)県の発展に取組む上で、県都大分市との連携は重要だと考える。県と市町村との連携の基本は、

住民本位の政策を形成し、財政面でも知恵を絞る。最小の経費で最大の効果をめざすこと。大分市とは、県・市美術館を核とした芸術文化振興、ラグビーW杯大分開催を通じた魅力発信等、一層の議論を重ね、実をあげていきたい。

(質問)市町村の財政規模は小さく、経常的経費の割合が高い。このような中で、公共施設等の市町村移管に加え、各種事業における負担の見直しを迫られることは、市町村にとってかなりの負担になる。

県と市町村の役割分担のあり方をどのように考えているのか、市町村との協議の進め方も含め、県の見解を伺う。

(答弁)総務部長)公共施設については、県が真に持ち続ける必要があるかという観点から検討している。相手方となる市町村の意向が重要であり、丁寧に協議を進めたい。

また、財政力指数や経常収支比率で見ると、県よりすぐれている市町村も多い状況にあり、補助金についても見直しをする場合には、市町村の理解を得ながら丁寧に進めていきたい。

「マイナンバー制度」

(質問)国内外問わず、情報システムに関連した個人情報流出事案がたびたび発生しており、県民の不安が高まっているのでは、と心配している。

技術面の対策強化、既存のセキュリティ対策基準等の再点検や見直し、外部監査法人による専門的視点からの取組みなどが必要と

思うが、県の見解は。

(答弁)総務部長)最高情報統括責任者をトップとする電子県庁推進本部で、制度面、技術面での対策を進めている。

職員研修も重要であり、直接マイナンバーを扱う職員だけではなく、本庁や地方機関の全職員を対象に、セキュリティ対策を含めた留意点を研修している。

「竹の子記」

▼今回は、昨年九月の第三回定例県議会での初質問の内容を記載しました。

▼全文にすると、一万七千字を超えるので、大変申し訳なく思います。が、全体の内容は、大分県議会のホームページをご参照ください。▼この欄では、質問の本题に入る前段、冒頭に演壇で述べた内容の一部をご紹介します。

▼歴史と伝統ある大分県議会での初質問となり、私にとりまして大変特別な日で、実は昨年この日に、二十三年と半年間勤めた市役所の職を辞すこととなり、選挙を通じて、本日この場に立っております。これまで私の人生の転機を支えていただきました。皆さんに感謝を申し上げます。皆さんに感謝を申し上げたいと思つたので、この日に質問の機会を得たことに對しまして、議員の皆さんに御礼申し上げます。▼時が経つのは早いもので、任期を得て八月月が過ぎました。今も、初質問で登壇した時の心地は忘れられず、演壇から見た光景は鮮明に脳裏に焼き付いています。

▼新たな二年の始まりを迎えました。初心を忘れず、また、皆さんに対する感謝の気持ちを忘れることなく、これからも「くらしに笑顔未来(あす)への大分」を原点に頑張ります。

